

BUSINESS
ビジネス



青井 ゆかり
アオイ・カレッジ・オブ・ランゲージズ
AOI College of Languages
社長
http://www.aoicollge.com/
info@aoicollge.com

各キャンパスの連絡先

- ACL UCI Main Campus
e-mail: uci@aoicollge.com
(for inquiries & application)
Tel: (949)856-1700 Fax: (949)856-1701
4255 Campus Dr. University Center #A-200
Irvine, CA 92612
- A.C.L. Torrance Campus
e-mail: torrance@aoicollge.com
(for inquiries & application)
Tel: (310)324-2872 Fax: (310)324-2874
19401 S. Vermont Ave., #G-100
Torrance, CA 90502
- A.C.L. Northwood Campus
e-mail: nw@aoicollge.com
(for inquiries & application)
Tel: (714)731-3900 Fax: (714)731-0938
4860 Irvine Blvd. #205
Irvine, CA 92620

今後は、ビジネスの国際性を今の23カ国から40から50カ国へ高めると同時に、英語を学ぶだけでなく、地元の人たちと一緒に定期的に何か社会に役立つことをしていければと考えている。「国際貢献できるようなボランティアや、たくさんの人々が集まるからこそできることをして、国際交流や国際平和に繋がりたいと思います。グラスルーツで、平和への貢献を地道に進めている。

そこで、最初に企画したのが『ホームステイ』だ。ホームステイは、青井社長が最初にアメリカを知ったきっかけ。その時の感動を他の人にも味わってもらいたいという気持ちがあった。「私がハワイでホームステイをしたホストマザーは、7カ国に住んだ経験があり、7カ国語を話せる人でした。日本ではそういう人に会ったことがなかったので、とてもインスパイアされました。目からうろこが落ちる思いで、その後、海外に目が向くようになりました。」

国際平和の基盤は人間対人間、 対話から

滞在希望者にも対応できるように」と、英語学校を設立した。「最初は3人の生徒さんで、塾みただった。ホストマザーに先生をしてもらったんですが、評判が

て深まる」という考え方が多くの生徒の共感を得たのだ。これまで一番経営的に厳しかったのは9・11テロ後の期間だ。日本から予約し

トルコ、ブラジル、ブルガリアなど世界中からの生徒が肩を並べ学んでいる。「私は、アメリカ人と接するだけじゃなく、違う人種の方たちとセカンドランゲージ

画した。最初は日本の留学エージェントからは門前払いだだったが、実際にホストファミリーを集め、自宅オフィスの一室からパソコンで業者への売り込みを必死に続けるうちに、興味を持つ業者も現れ、ビジネスが動き出した。12年前のことだった。

やがて、ホームステイの期間中でも昼間の時間をさらに有意義に活用し、「長期

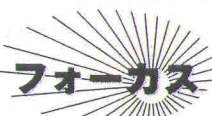
良かったので、日本からコンスタントに人が来て、1年後には1200から1500人の生徒に膨れ上がった。人数が増えるにつれ、4クラスにレベル分けもできるようにになり、先生も増え、学校は徐々に軌道に乗り出した。「アメリカに来て英語を学ぶ価値は現地の人と触れ合うことにあり、英語の理解も生きた日常会話や文化を学ぶことによっ

ていた生徒は全部キャンセルとなり、3カ月間は1人も渡来せず、その後も1年間は生徒数が激減した。しかしそれも乗り越え、ここ2、3年は韓国人や台湾人のディレクターなどを採用し、学校自体をよりインターナショナルにしている」と日本以外の国々へのリクルートにも力を注いできた。信頼できる有能なスタッフに恵まれ、ビジネスは急成長している。今ではアーバインに2校のほか、トランスとサンフランシスコにも置くほどになった。

またクラスでは、日本人だけでなく、台湾、ドイツ、同志で仲良くすることも大事な事だと思っています。戦争やケンカも、コミュニケーションやカルチャーのギャップといった理解の浅さから始まるもので、本当に深く話せば、どんなことでも解決できると思っ

「私」がハワイでホームステイをしたホストマザーは、7カ国に住んだ経験があり、7カ国語を話せる人でした。日本ではそういう人に会ったことがなかったので、とてもインスパイアされました。目からうろこが落ちる思いで、その後、海外に目が向くようになりました。」

「私」がハワイでホームステイをしたホストマザーは、7カ国に住んだ経験があり、7カ国語を話せる人でした。日本ではそういう人に会ったことがなかったので、とてもインスパイアされました。目からうろこが落ちる思いで、その後、海外に目が向くようになりました。」



ハワイでのホームステイが 大きな人生のインパクト 英語を学ぶ意義と楽しさを多くの人に伝えたい

アオイ・カレッジ・オブ・ランゲージズ

販促 ボールペン ゴルフ傘
マグカップ メモ帳
Tシャツ キーホルダー

Your Company Name Here

www.hikaritype.com

印刷のこだわり HIKARI TYPE Tel 212.302.8868 (NYC)
800.594.0210
Business Stationery Fax 866.381.7494

名刺、レターヘッド、封筒、挨拶状、帳票